

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム新栄

目標達成計画

作成日: 平成 29年 4月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	職員により介護計画の内容把握にばらつきがある為、全職員が意図を汲み取り、適切な介護サービスの提供を確実にすることが課題である。	介護計画の内容把握をしモニタリングを行い、記録への反映を行う。	職員一人ひとりが担当を持ち毎月モニタリングを行う。介護計画の内容を意識、把握し適切な介護を実施し日々の記録に反映させる。	6ヶ月
2	40	厨房調理なので生活の中で調理に携わる時間が乏しい。調理の時間を増やしていくことが課題。	少しでも調理に携われるよう機会を設ける。	おやつ作りの回数を増やす。準備段階から買い物などで関わりを持つ機会を増やす。おやつだけでなく利用者自身で食事をつくる機会を設ける。	6ヶ月
3	35	防災訓練における地域の方との協力体制はまだとれていない。消防訓練、避難訓練時に地域の方にどのように関わっていただけるかが課題。	防災訓練時に地域の方に参加していただく。	併設、隣接事業所と合同で訓練を実施し連携を深める。訓練実施前に近隣へ周知をし、参加して頂けるよう促しを行う。	12ヶ月
4	2	活動が乏しい地域性ではあり、地域の一員としてのつながりがなかなか持てていない。	地域の一員として近隣とつながりが持てるよう行事企画や参加を行う。	併設の小規模多機能型居宅介護事業所と協力し合同で地域行事(運動会、餅つき大会等)へ参加を行う。	12ヶ月
5	4	運営推進会議に家族の参加ができていない。	運営推進会議へ家族に参加をしていただく。	家族に運営推進会議開催の案内を出すとともに、面会時にもお誘いの声掛けを行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。